Panasonic®

施工説明書

アラウーノ専用手洗ユニット（コーナー・カウンタータイプ）

手洗いタイプ	コーナータイプ				カウンタータイプ			
便器・手洗い設置位置	標準		前出し		標準		前出し	
施工タイプ記号	A		C		B		D	
本体	手動水栓	自動水栓	手動水栓	自動水栓	手動水栓	自動水栓	手動水栓	自動水栓
	CH110TSK	CH110TJK	CH110TSZK	CH110TJZK	CH110TFSK	CH110TFJK	CH110TFSK	CH110TFJK
カウンター	――――				CH110TFWL（R）K		CH110TFZWL（R）K	

●施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。**特に「安全上のご注意」（3 ページ）は、施工前に必ずお読みください。**

●施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

●取扱説明書（保証書付き）、施工完了チェックリストは必ず必要事項を記入のうえお客様にお渡しください。

●便器を取り付ける前に「アラウーノ専用手洗ユニット」を先に取り付けてください。

もくじ

※詳しくは 2 ページをご参照ください。

SEMS070

施工チャート

手洗い

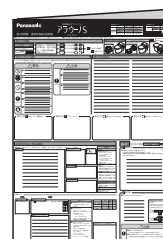
本書

アラウーノ専用
手洗ユニット

便　器

別 冊

それぞれの便器の施工説明書にしたがって「止水栓の取り付けと床工事」を行ってください。

アラウーノ

アラウーノS

アラウーノV

別 冊

それぞれの便器の施工説明書にしたがって「便器の取り付け」を行い、以降の施工をしてください。

アラウーノ

アラウーノS

アラウーノV

安全上のご注意　必ずお守りください

◎人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

禁止　してはいけない内容です。

必ず守る　実行しなければならない内容です。

警告

禁止

- **バスルームなどの湿気の多い場所に設置しない**
  感電や火災の原因となります。
- **分解・改造はしない**
  感電・火災・けがの原因となります。
- **屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には施工しない**
  本体が破損し、発火や発煙の原因となります。

必ず守る

- **自動水栓タイプの場合、電源は必ず交流 100V（15A以上）の専用回路が設けられていることを確認する**
  感電や火災の原因となります。
- **電気工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う**
  漏電・火災・水漏れの原因となります。

注意

禁止

- **給水管に強い力を加えない**
  破損による水漏れの原因となります。

必ず守る

- **施工後は必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する**
  拡大損害の原因となります。
- **施工後は必ず手洗いボールのがたつきがないことを確認する**
  落下によるけがの原因となります。
- **壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する**
  落下によるけがの原因となります。
- **壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する**
  十分な強度がない場合は、12mm 以上の合板で補強する
  落下によるけがの原因となります。
- **ねじ頭が飛び出たままにならないように最後までしっかりとめる**
  配管を傷つけ、水漏れの原因となります。
- **排水ジョイントにしわができないようにホースバンドを締めつける**
  水漏れの原因となります。
- **排水管をしっかり締めつける**
  水漏れの原因となります。
- **水道工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う**
  水漏れの原因となります。
- **上水道に接続する**
  故障・肌のかぶれの原因となります。
- **凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う**
  水漏れなどで家財などに損害を与える原因となります。

施工前の確認

※　使用水圧範囲は、0.098MPa（流動時）～0.735MPa（静止時）です。

※　一部の特定地域では設置できない場合や水道事業管理者の承認が必要な場合があります。弊社営業所、または販売店にご相談ください。

※　手洗いを便器の止水栓と反対側に設置する場合、給水ホースの延長が必要です。
（品番：CH110RT08　品名：R 勝手用連結ホース 800）

※　内開きのドアの場合、ドアが製品にあたらないことをご確認ください。

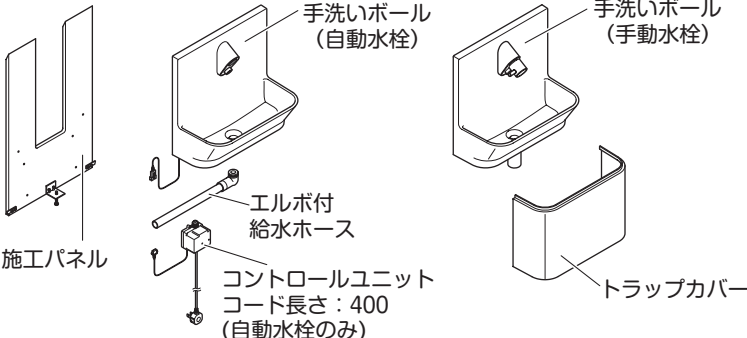
※　止水栓および便器は、この製品に含まれておりません。別途お求めください。

※　本書では、便器に向かって、手洗いを左に設置する場合を L タイプ、右に設置する場合を R タイプと呼んでいます。
手順では L タイプを説明しています。R タイプの場合は対称となります。

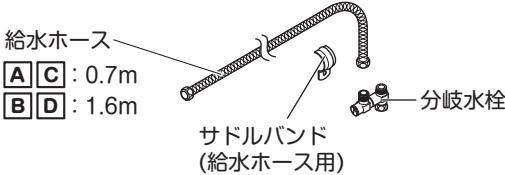
※　アラウーノ S、アラウーノ V とコーナータイプ（10cm 前出し）、カウンタータイプ（10cm 前出し）の組み合わせの場合は、
ホルソー（φ 45mm ～φ 52mm）をご準備ください。

※　収納部やミラーを手洗い上部に設置する場合、必ず手洗いボールから 50mm 以上離して設置してください。

各部のなまえと部品の確認

施工タイプによって４つのタイプ（施工タイプ記号Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ）に分類されます。
該当の施工タイプ記号をご確認のうえ、施工してください。

■：手洗いボールに同梱
□：カウンターに同梱

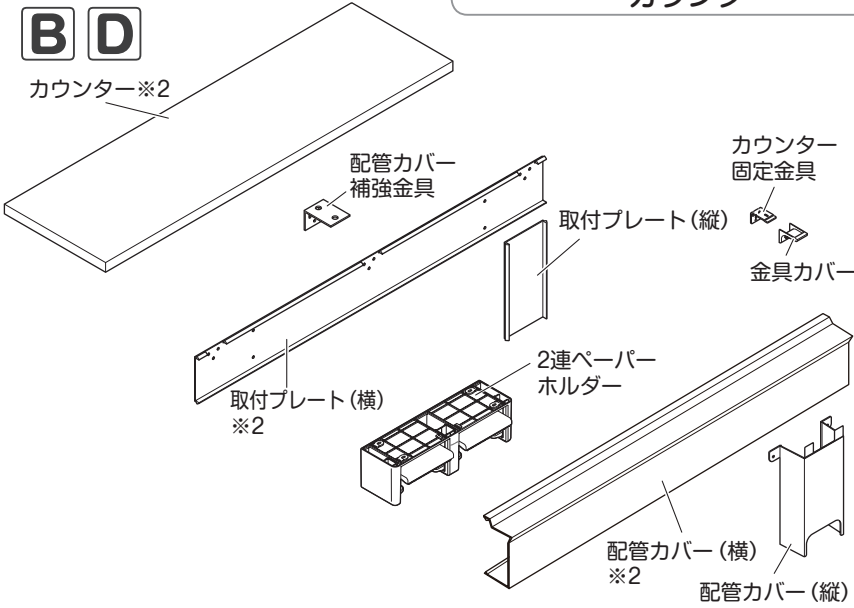
手洗い

A B C D

	手動水栓	自動水栓
手洗いボール（手動水栓）	1	
手洗いボール（自動水栓）		1
コントロールユニット		1
エルボ付給水ホース		1
トラップカバー	1	1
施工パネル	1	1
ハンドルカバー	1	

施工説明書

給水ブロック

施工タイプ	A C	B D
分岐水栓	1	1
給水ホース（0.7 m）	1	
給水ホース（1.6m）		1
サドルバンド（給水ホース用）	1	4

配管セット（アラウーノのみ※別途手配が必要）

品　番	CH120T（床排水タイプ）	CH120TP（壁排水タイプ）
ねじ付ストレート管（ℓ =230）	1	
L 管（249 × 93）	1	
エルボ（袋ナット２個付き）	1	
排水ジョイント		1

ねじセット

施工タイプ	A C	B D
皿木ねじ（ϕ 4.5 × 45mm）	4	4
トラスタッピンねじ（ϕ 4 × 20mm）		10
トラスタッピンねじ（ϕ 4 × 45mm）	8	32
トラスタッピンねじ（ϕ 4 × 16mm）		4
ウスバインドタッピンねじ（ϕ 4 × 23mm）	3	
皿木ねじ（ϕ 4.5 × 20mm）		1
化粧カバー		1
ワッシャー		1

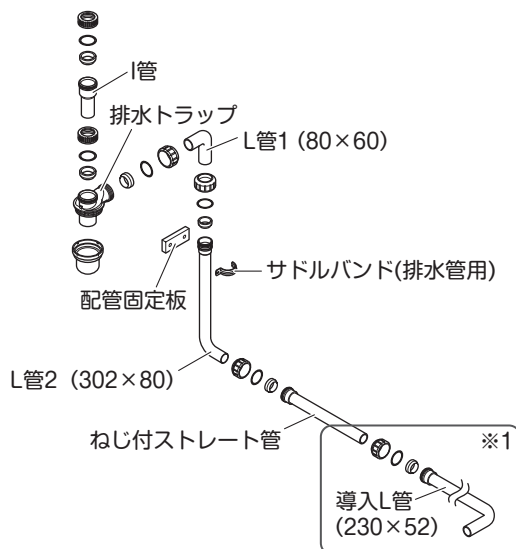
カウンター

B D

※２　B：900、D：1000

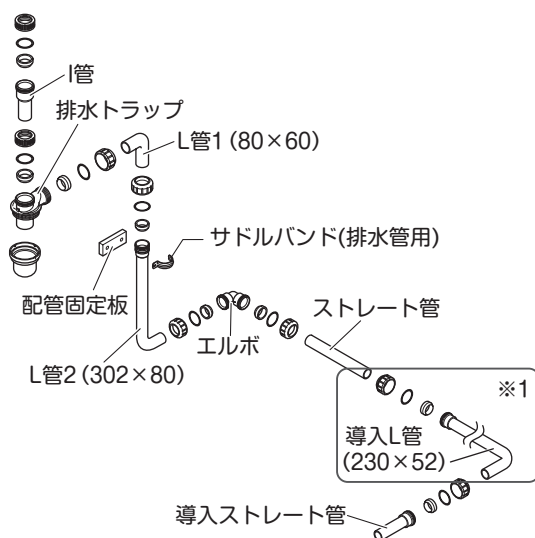
施工タイプ	B	D
塩ビ管（VP25）L=850	1	
塩ビ管（VP25）L=950		1
配管カバー（横）L=900	1	
配管カバー（横）L=1000		1
取付プレート（横）L=900	1	
取付プレート（横）L=1000		1
配管カバー（縦）	1	1
取付プレート（縦）	1	1
配管カバー補強金具	2	2
カウンター L=900	1	
カウンター L=1000		1
カウンター固定金具	2	2
金具カバー	2	2
2 連ペーパーホルダー	1	1
トラスタッピンねじ（ϕ 4 × 35mm）	4	4
トラスタッピンねじ（ϕ 4 × 15mm）	4	4

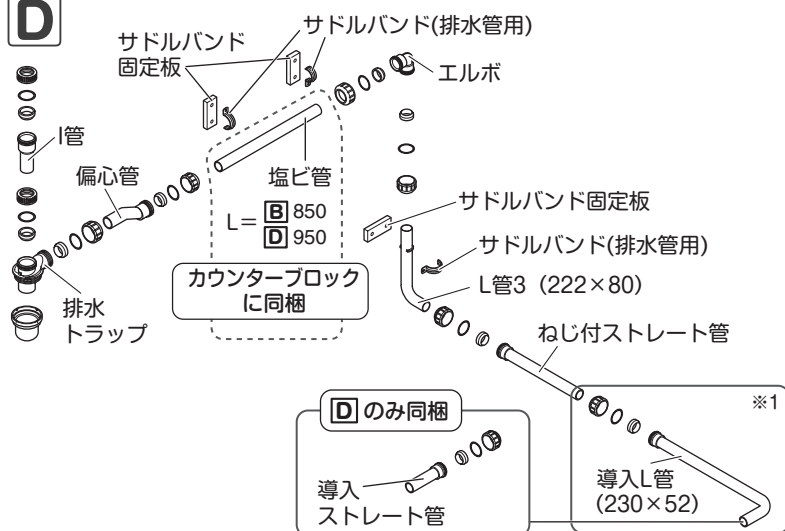
手洗いタイプ	コーナータイプ				カウンタータイプ			
便器・手洗い設置位置	標準		前出し		標準		前出し	
施工タイプ記号	A		C		B		D	
本体	手動水栓	自動水栓	手動水栓	自動水栓	手動水栓	自動水栓	手動水栓	自動水栓
	CH110TSK	CH110TJK	CH110TSZK	CH110TJZK	CH110TFSK	CH110TFJK	CH110TFSK	CH110TFJK
カウンター	―				CH110TFWL(R)K		CH110TFZWL(R)K	

(寸法単位：mm)

※1　図はアラウーノ S、アラウーノ V の場合です。
アラウーノは下記配管接続図を参照してください。
●床排水タイプ…P.6、7　●壁排水タイプ…P.8

A

施工タイプ	A
排水トラップ	1
I 管	1
L 管 1（80 × 60）	1
L 管 2（302 × 80）	1
ねじ付ストレート管	1
導入 L 管	1 ※ 1
サドルバンド（排水管用）	1
配管固定板	1

C

施工タイプ	C
排水トラップ	1
I 管	1
L 管 1（80 × 60）	1
L 管 2（302 × 80）	1
ストレート管	1
導入 L 管	1 ※ 1
導入ストレート管	1
エルボ	1
サドルバンド（排水管用）	1
配管固定板	1

B D

施工タイプ	B	D
排水トラップ	1	1
I 管	1	1
L 管 3（222 × 80）	1	1
偏心管	1	1
ねじ付ストレート管	1	1
導入 L 管	1 ※ 1	1 ※ 1
導入ストレート管		1
エルボ	1	1
サドルバンド（排水管用）	3	3
サドルバンド固定板	3	3

寸法図・配管接続図

アラウーノ　床排水タイプ

の部分が壁面補強範囲です。

■コーナータイプ

※1 図はリフォームタイプです。標準タイプの排水位置は 200mm となります。
※2 アームレストを取り付ける場合、手洗い側は 500 mm以上必要です。

●下記品番は商品品番です。

■カウンタータイプ

※1 図はリフォームタイプです。標準タイプの排水位置は 200mm となります。
※2 アームレストを取り付ける場合、手洗い側は 500 mm以上必要です。

●下記品番は商品品番です。

■コーナータイプ（10cm前出し）

※ 1 図はリフォームタイプです。標準タイプの排水位置は 300mm となります。
※ 2 アームレストを取り付ける場合、手洗い側は 500 mm以上必要です。

●下記品番は商品品番です。

■カウンタータイプ（10cm前出し）

※ 1 図はリフォームタイプです。標準タイプの排水位置は 300mm となります。
※ 2 アームレストを取り付ける場合、手洗い側は 500 mm以上必要です。

●下記品番は商品品番です。

アラウーノ　壁排水タイプ

の部分が壁面補強範囲です。

■コーナータイプ（10cm前出し）

※ 1 図は壁排水 120 タイプです。壁排水 155 タイプの排水高さは 135 ～ 155mm となります。
※ 2 アームレストを取り付ける場合、手洗い側は 500 mm以上必要です。

●下記品番は商品品番です。

■カウンタータイプ（10cm前出し）

※ 1 図は壁排水 120 タイプです。壁排水 155 タイプの排水高さは 135 ～ 155mm となります。
※ 2 アームレストを取り付ける場合、手洗い側は 500 mm以上必要です。

●下記品番は商品品番です。

アラウーノS

の部分が壁面補強範囲です。

■コーナータイプ

●下記品番は商品品番です。

■カウンタータイプ

●下記品番は商品品番です。

アラウーノS

の部分が壁面補強範囲です。

■コーナータイプ（10cm前出し）

●下記品番は商品品番です。

■カウンタータイプ（10cm前出し）

●下記品番は商品品番です。

アラウーノV

の部分が壁面補強範囲です。

■コーナータイプ

●下記品番は商品品番です。

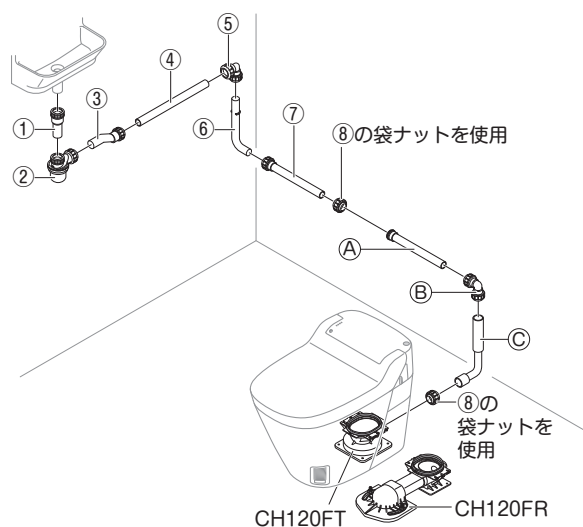
■カウンタータイプ

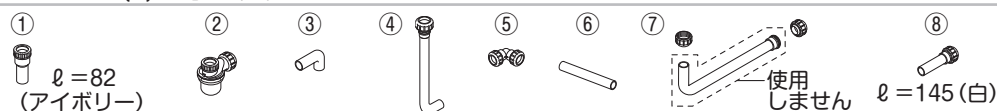
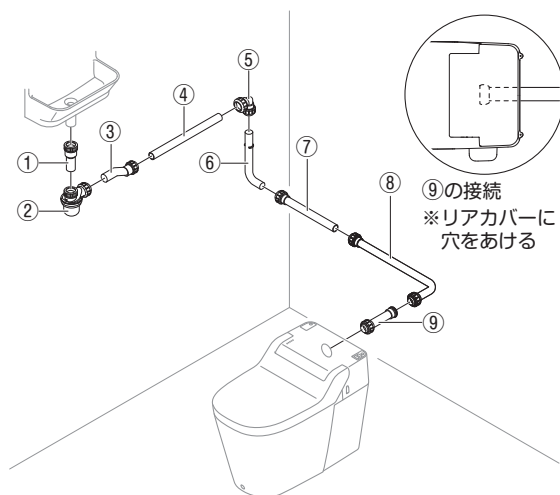
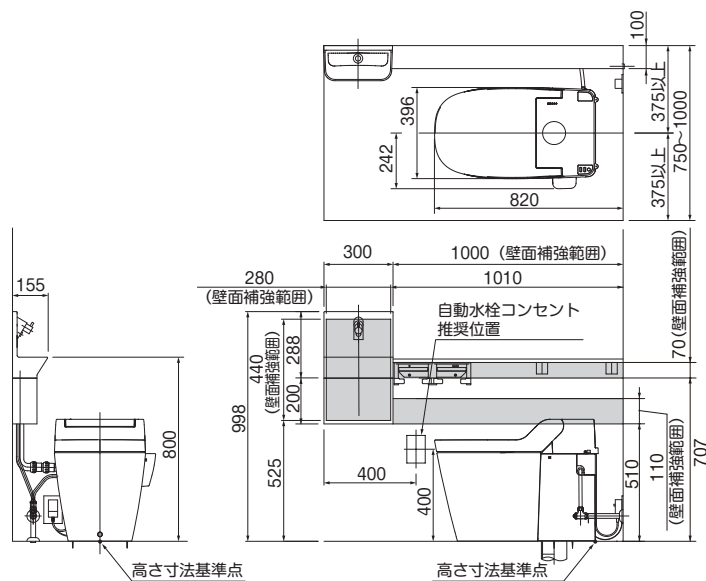
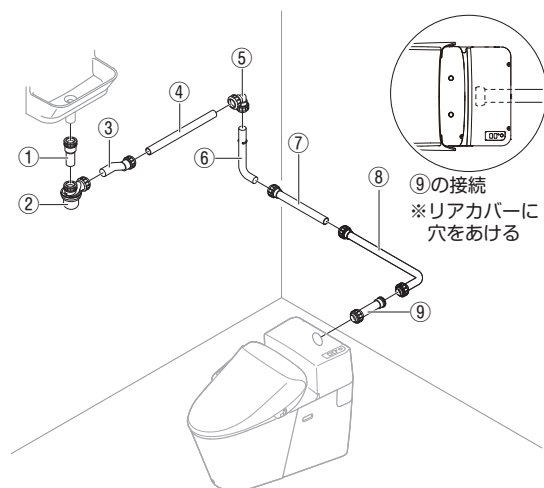
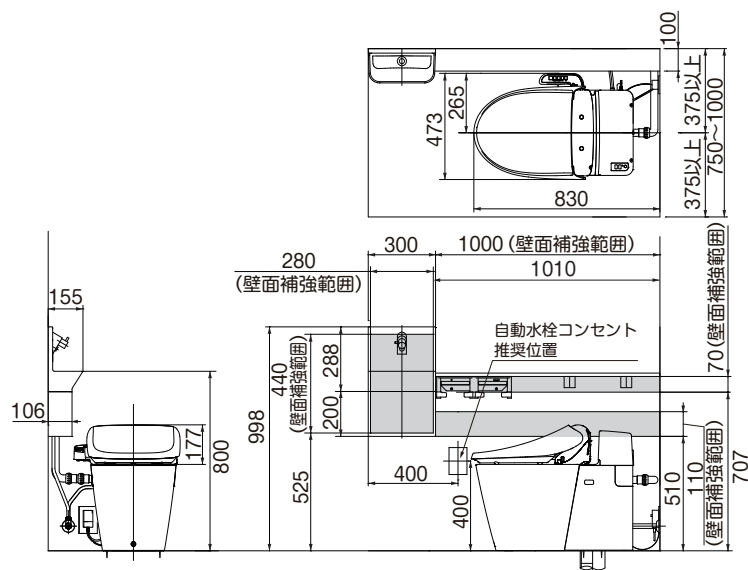
●下記品番は商品品番です。

アラウーノV

の部分が壁面補強範囲です。

■コーナータイプ（10cm前出し）

※壁排水タイプの場合は
CHHP82S を手配してください。

●下記品番は商品品番です。

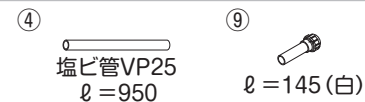
「CH110TS(J)ZK」に同梱

① ℓ＝82（アイボリー）② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ℓ＝145（白）

■カウンタータイプ（10cm前出し）

※壁排水タイプの場合は
CHHP82S を手配してください。

●下記品番は商品品番です。

「CH110TFS(J)K」に同梱

① ℓ＝82（アイボリー）② ③ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

「CH110TFZWL(R)K」に同梱

④ 塩ビ管VP25 ℓ＝950　⑨ ℓ＝145（白）

手洗いタイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
便器・手洗い設置位置	標準	前出し	標準	前出し
施工タイプ記号	A	C	B	D

（寸法単位：mm）

1 止水栓の取り付けと床工事

※それぞれの便器の施工説明書にしたがって作業を行ってください。

アラウーノ

	標準	リフォーム
床排水	P.13 1 2	P.17 1 2 P.18 3

壁排水	P.6 1 P.7 2 P.11 3 1

アラウーノS

	標準、高層階	リフォーム
床排水	P.1 A-1 1 2 3 4	P.2 B-1 1 2 3 4 5 6

		排水ジョイント接続
壁排水	P.3 C-1 1 2 3 ❶❷	P.3 C-1 1 2 排水ジョイント接続の場合 1 2 (1) (2)

アラウーノV

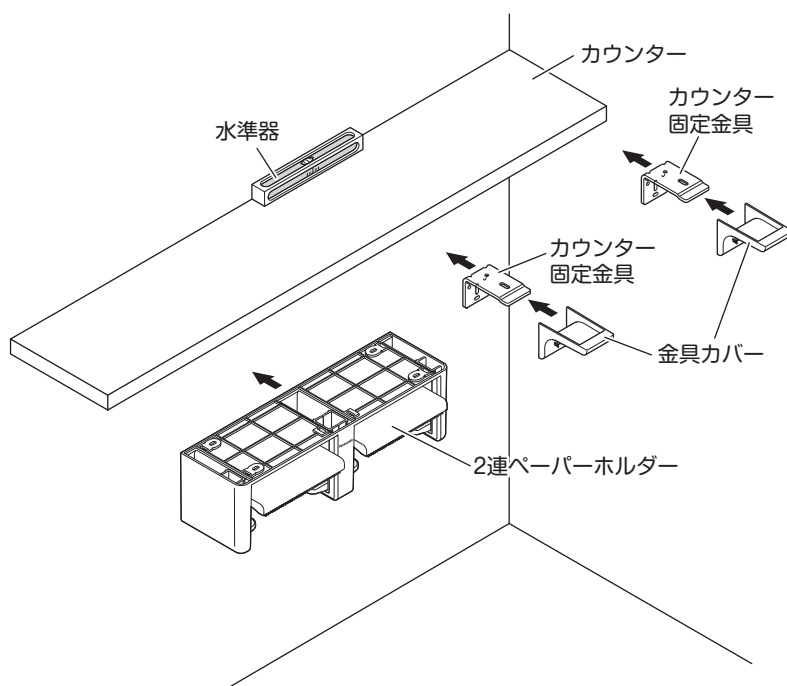
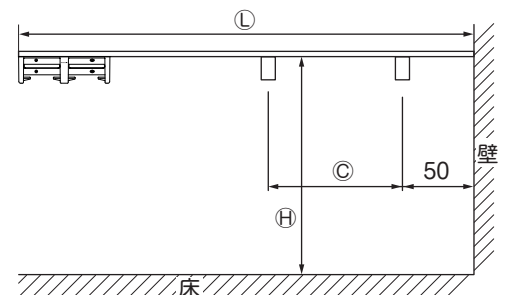
	標準	リフォーム
床排水	P.15 手順1 ～ P.17 手順4	P.19 手順1 ～ P.23 手順6

	後ろ抜き	排水ジョイント接続
壁排水	P.12 手順1 ～ P.13 手順3	P.15 手順1 ～ P.19 手順7

※A C の場合は、「4 施工パネルの取り付け」(P.16) に進んでください。

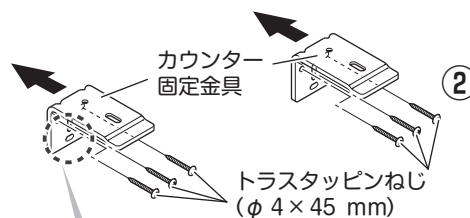
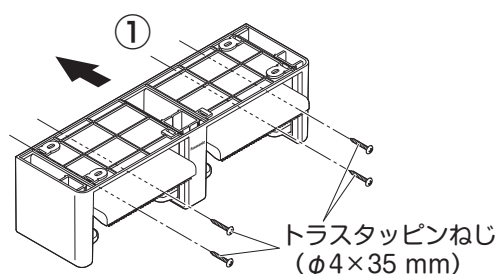
2 カウンターと 2 連ペーパーホルダーの取り付け B D

お願い

・水準器を使用して必ず水平に取り付けてください。
・各部品を、がたつきのないようにしっかり取り付けてください。

取り付け図

	B	D
カウンター長さⓁ寸法	900	1000
カウンター高さⒽ寸法	777	777
金具取り付けⒸピッチ	258	308

1 2連ペーパーホルダーとカウンター固定金具を壁に取り付ける。

① 2連ペーパーホルダーを壁に取り付ける。
　・トラスタッピンねじ（φ4×35 mm）で固定してください。（4か所）

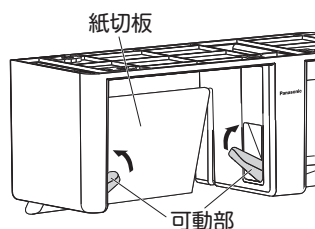
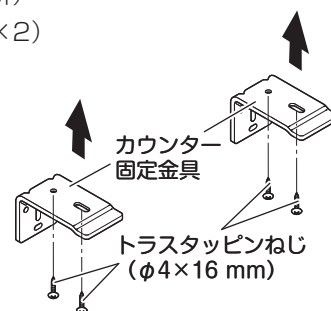
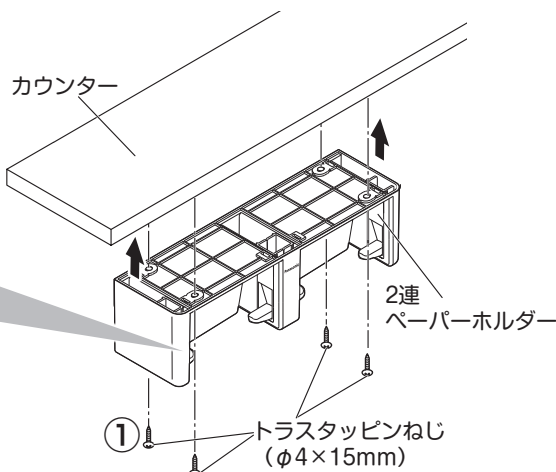
② カウンター固定金具を壁に取り付ける。
　・トラスタッピンねじ（φ4×45 mm）で固定してください。（3か所×2）

お願い
この穴を使用して壁に固定しないでください。
（金具カバー用の穴です。）

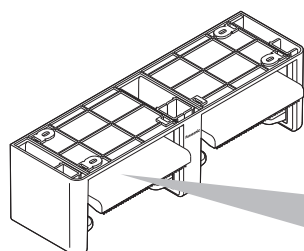
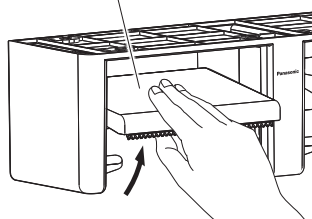
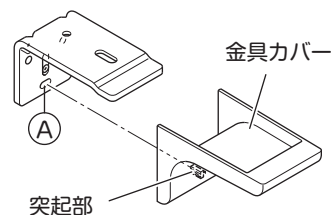
2 カウンターを取り付ける。

・カウンターを2連ペーパーホルダーとカウンター固定金具の上に置いてください。

3 2連ペーパーホルダーとカウンター固定金具をカウンターに取り付ける。

① 2連ペーパーホルダーをトラスタッピンねじ（ φ4×15 mm ）で固定する。（4か所）

② カウンター固定金具をトラスタッピンねじ（ φ4×16 mm ）で固定する。（2か所×2）

このねじを止めるときは可動部を上側に起こし紙切板を奥側にしてからねじを固定する。

お願い
ペーパーホルダー固定ねじとカウンター固定ねじは長さが異なります。必ず指定のねじをご使用ください。

4 紙切板を元の状態にもどす。

5 金具カバーを取り付ける。（2か所）

突起部分を Ⓐ に差し込み固定する

手洗いタイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
便器・手洗い設置位置	標準	前出し	標準	前出し
施工タイプ記号	A	C	B	D

（寸法単位：mm）

3 取付プレートの固定 B D

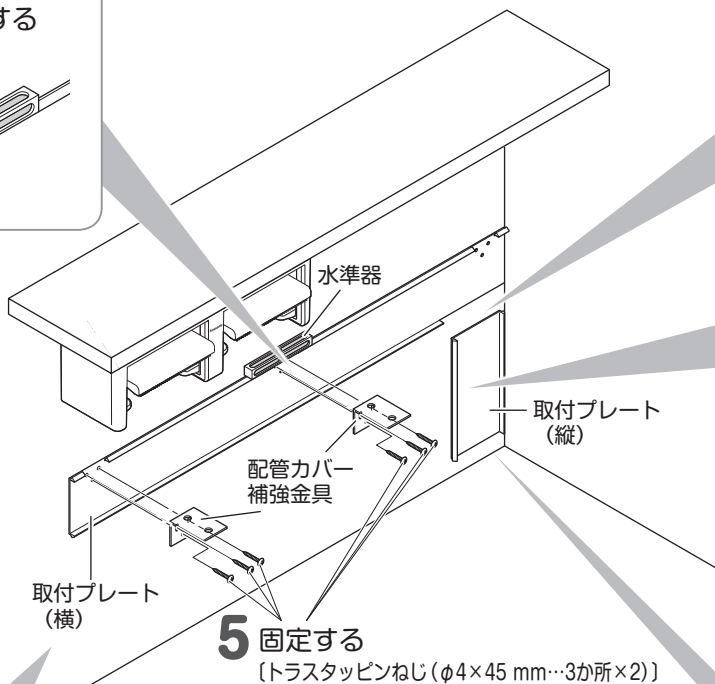
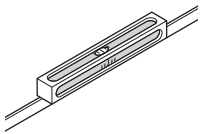
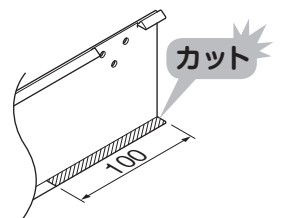
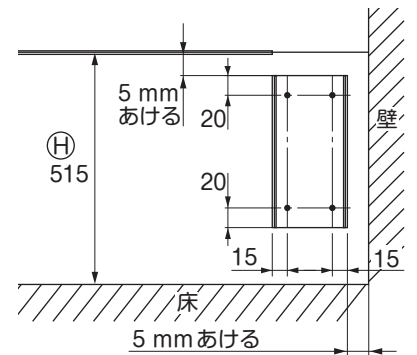
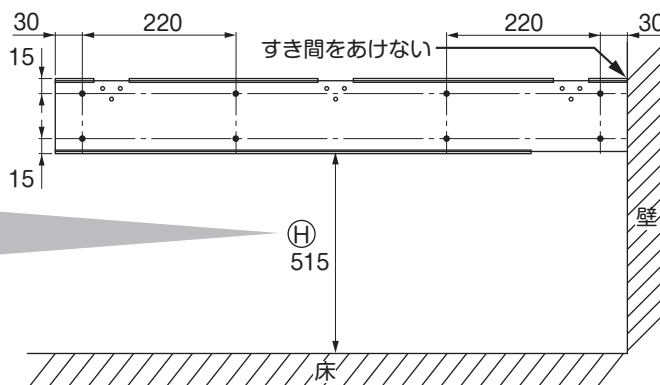
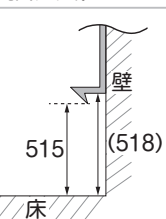
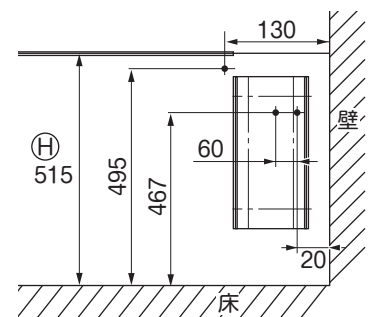
1 取付プレート（横）を「塩ビのこ」などでカットする。
・カット後、切断面のバリを取り除いてください。

2 水準器で取付プレートが水平になっていることを確認する。

3 取付プレート（横）を壁に固定する。
・取り付け高さ H は、床面から515 mmにしてください。

4 取付プレート（縦）を壁に固定する。
・取付プレート（縦）を取付プレート（横）、壁からそれぞれ5 mmあけてください。

5 配管カバー補強金具を、取付プレート（横）の下穴に固定する。

6 φ3のキリで下穴をあける。

1 カットする（斜線部分）
カット
100

4 施工パネルの取り付け

1 施工パネルを皿木ねじ（φ4.5×45mm）で壁に取り付ける。

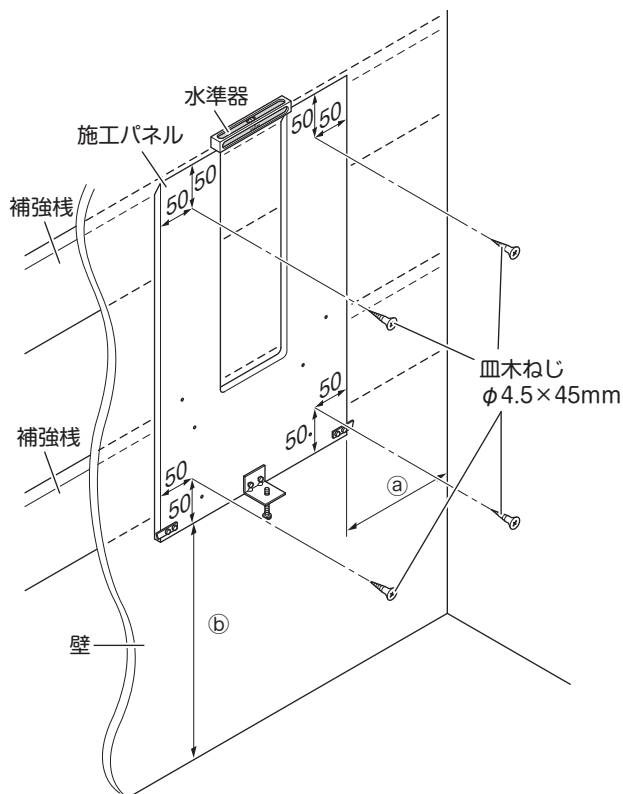
・施工パネルにねじの下穴はありません。
壁の下地がある位置に、ねじで固定してください。

お願い
・施工パネルは、水準器などを使用して、必ず水平に取り付けてください。
・収納部やミラーを手洗い上部に設置する場合、必ず手洗いボールから50mm以上離して設置してください。

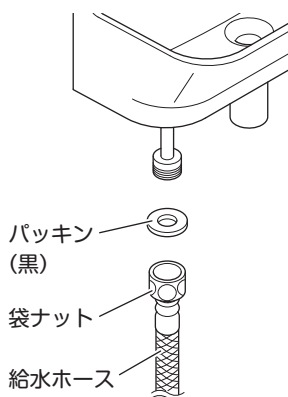
施工タイプ記号	A	B	C	D
ⓐ寸法	12	910	110	1010
ⓑ寸法	575	525	575	525

⚠注意

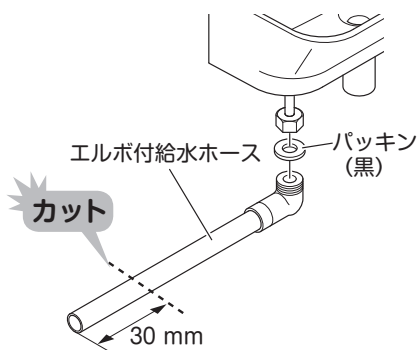
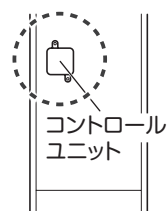
必ず守る

壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する
十分な強度がない場合は、12mm 以上の合板で補強する
落下によるけがの原因となります。

5 給水ホースの取り付け

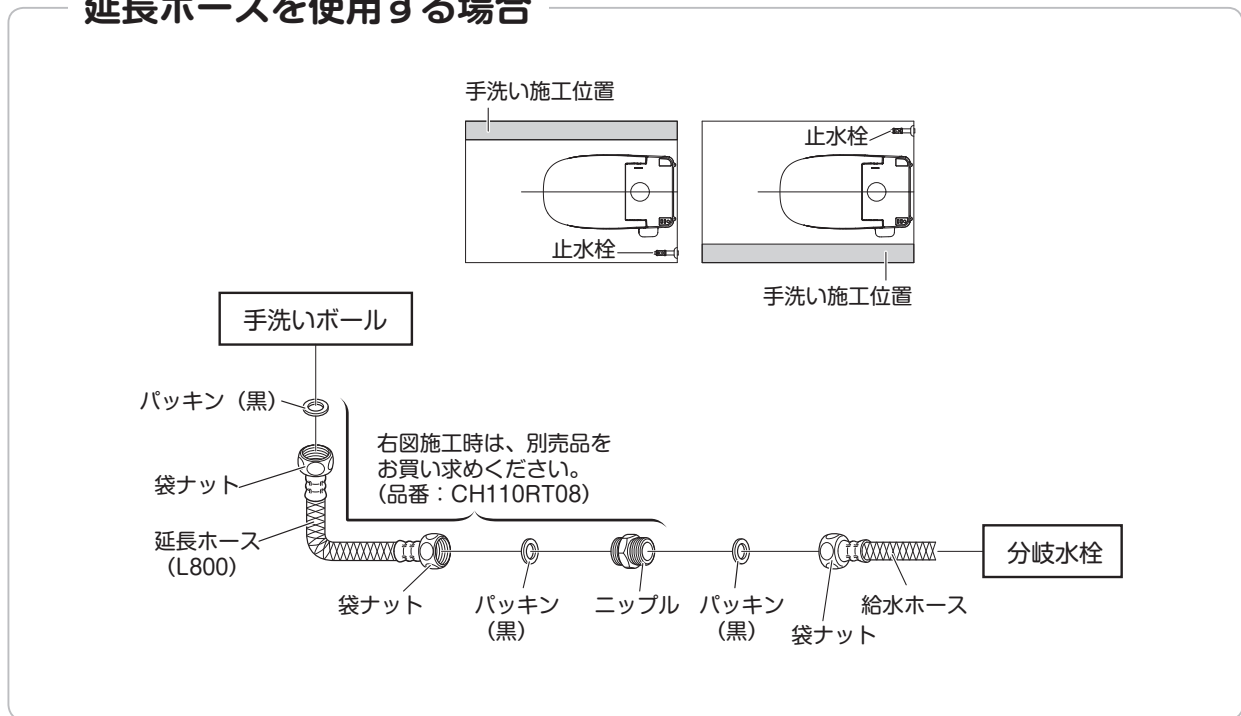
手動水栓

1 給水ホースを袋ナットで固定する。

自動水栓

1 エルボ付給水ホースを取り付ける。

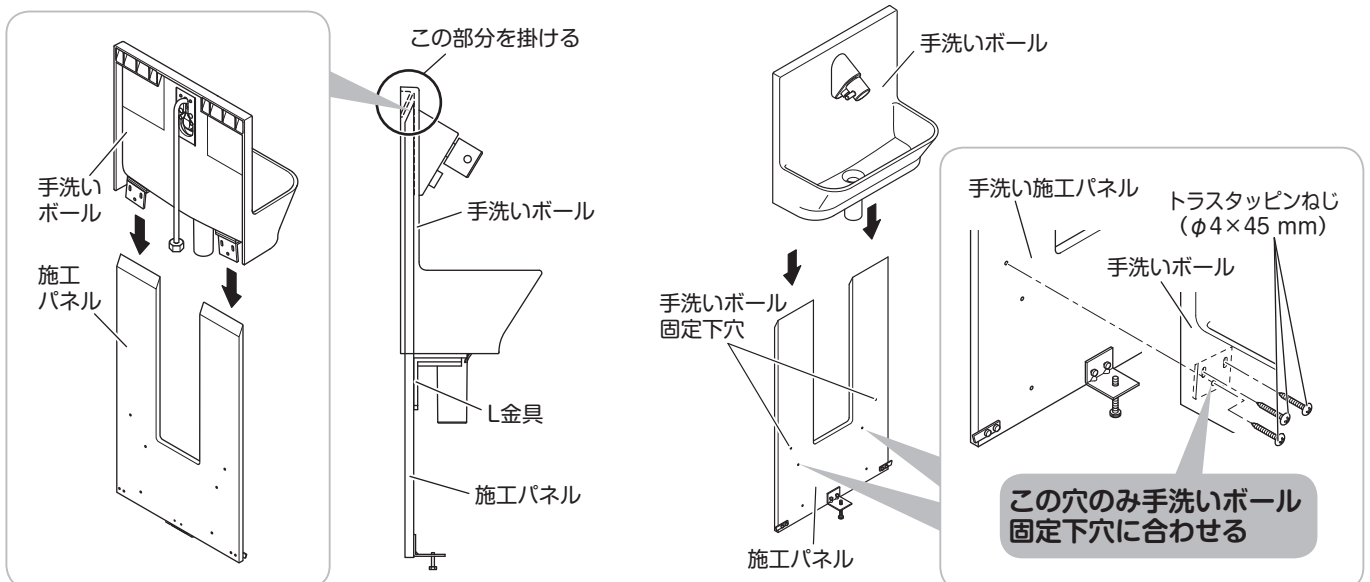
・「Lタイプ」の場合は、エルボ付給水ホースの白いホースを30mmカットしてください。カットしないとホースが折れ曲がります。

※「Rタイプ」の場合はカットの必要はありません

手洗いタイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
便器・手洗い設置位置	標準	前出し	標準	前出し
施工タイプ記号	A	C	B	D

（寸法単位：mm）

延長ホースを使用する場合

6 手洗いボールの取り付け

1 手洗いボール上部を施工パネル上部に掛ける。

この部分を掛ける
手洗い
ボール
施工
パネル
手洗いボール
L金具
施工パネル

2 トラスタッピンねじ（φ4×45 mm）で固定する。

※手動水栓の場合は、「 8 給水ホースの固定」（P.19）に進んでください。

7 自動水栓の場合 コントロールユニットの取り付け

「Lタイプ」の場合は、エルボ付給水ホースを30mmカットしている事をご確認ください。（P.16参照）

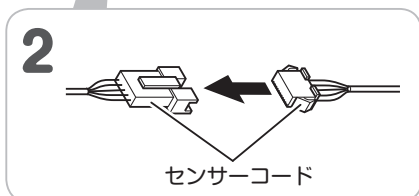
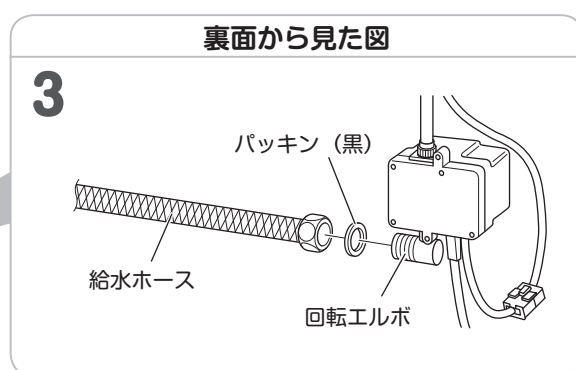
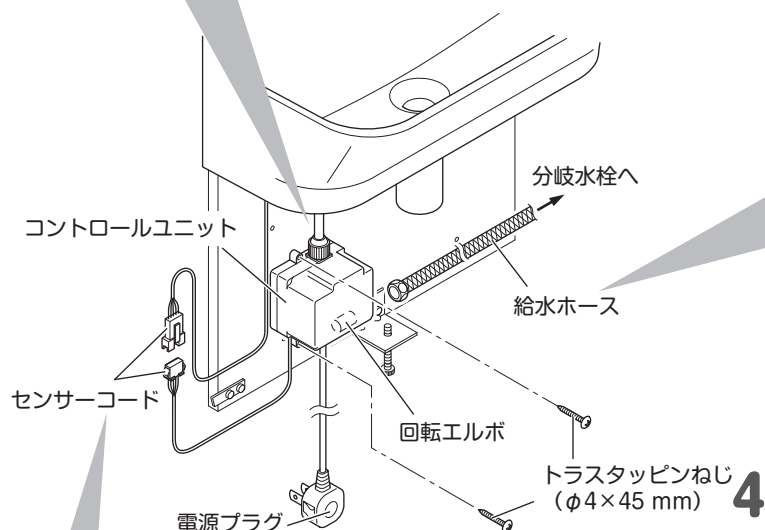
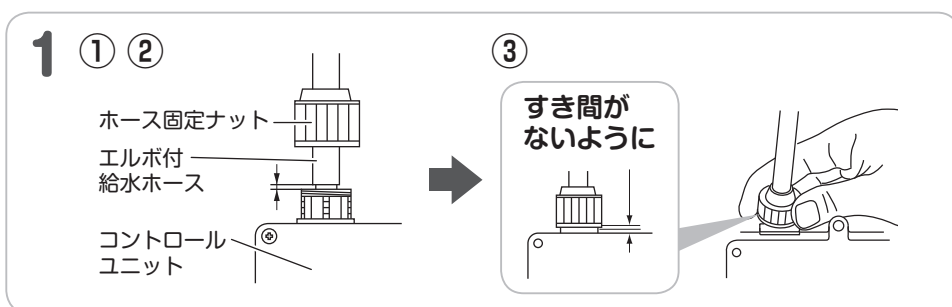
1 コントロールユニットにエルボ付給水ホースを接続する。

① コントロールユニットからホース固定ナットを外し、ホース固定ナットをエルボ付給水ホースに通す。
② エルボ付給水ホースをコントロールユニットにきちんと差し込む。
③ ホース固定ナットをコントロールユニットねじ部に手でしっかりと締める。

2 コントロールユニットのセンサーコードを接続する。

3 給水ホースを回転エルボに取り付ける。

4 コントロールユニットを各タイプの下穴に合わせて、取り付ける。

・トラスタッピンねじ（φ4×45 mm）で固定してください。

手洗いタイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
便器・手洗い設置位置	標準	前出し	標準	前出し
施工タイプ記号	A	C	B	D

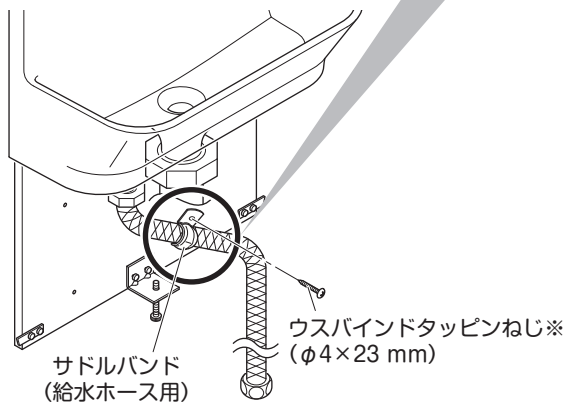
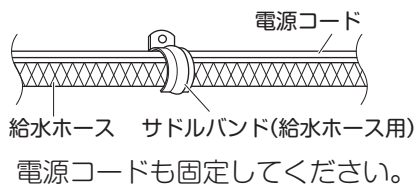
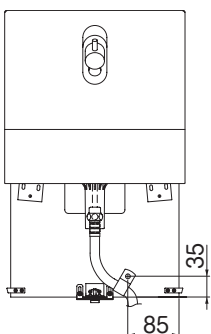
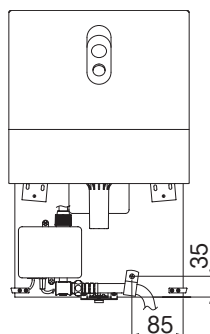
（寸法単位：mm）

8 給水ホースの固定

A C

1 施工パネルに給水ホースをサドルバンド（給水ホース用）で固定する。（1 か所）

お願い

給水ホースがねじれたり折れたりしないように取り付けてください。

※印のねじ部分の下穴はあいていません。
位置を確認して取り付けてください。

給水管固定位置

B D

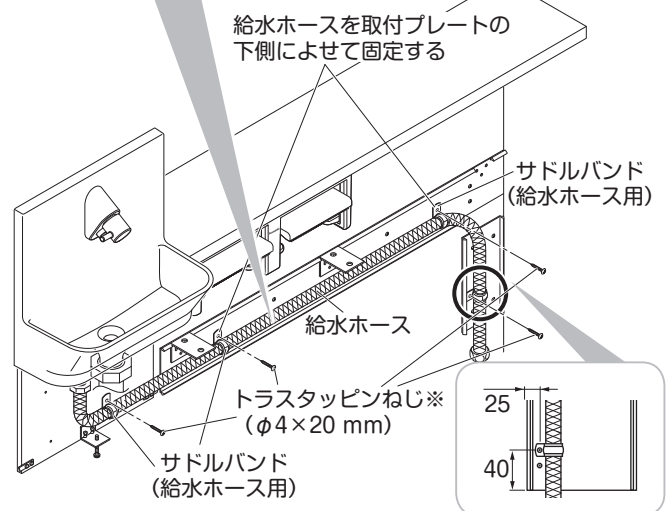
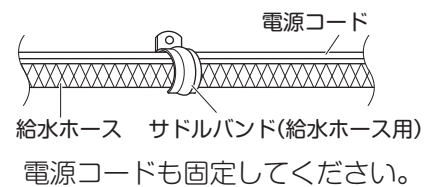
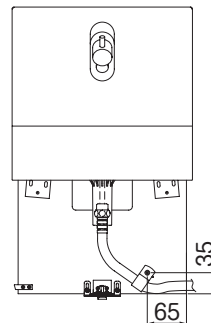
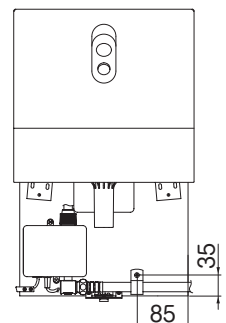
1 施工パネルに給水ホースをサドルバンド（給水ホース用）で固定する。（4か所）

お願い

給水ホースがねじれたり折れたりしないように取り付けてください。

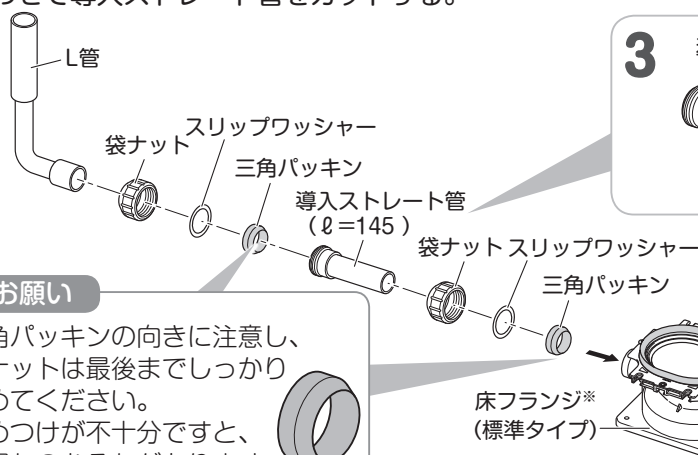
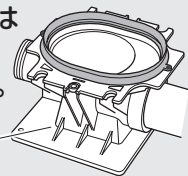
※印のねじ部分の下穴はあいていません。
位置を確認して取り付けてください。

給水管固定位置

9 手洗い排水管と便器排水部材の取り付け

便器のタイプによって、排水管セットの取り付けかたが異なります。

アラウーノ床排水タイプと接続する場合

1. 排水管と便器の接続

1 それぞれの便器の施工手順にしたがって、手洗い排水管を接続する。

手洗いタイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
便器・手洗い設置位置	標準	前出し	標準	前出し
施工タイプ記号	A	C	B	D

（寸法単位：mm）

2. 便器とストレート管の取り付け

A B D

1 A寸法を測定する。

2 ねじ付ストレート管をカットする。

・カット寸法＝518－A寸法

3 各部材を接続する。

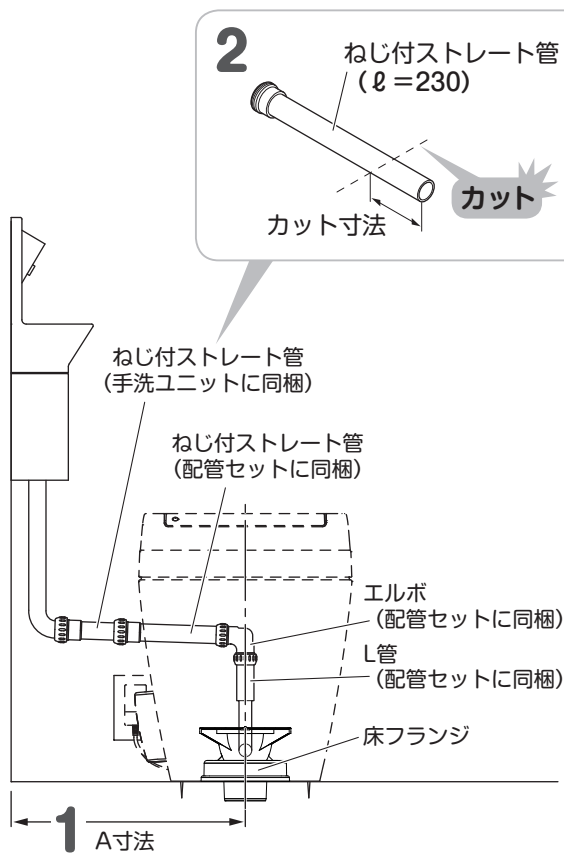
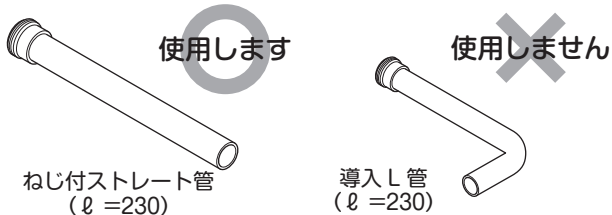
・水漏れのないよう、しっかりと締めつけてください。

「アラウーノ専用手洗ユニット」同梱部材

使用します

ねじ付ストレート管
（ℓ＝230）

使用しません

導入Ｌ管
（ℓ＝230）

C

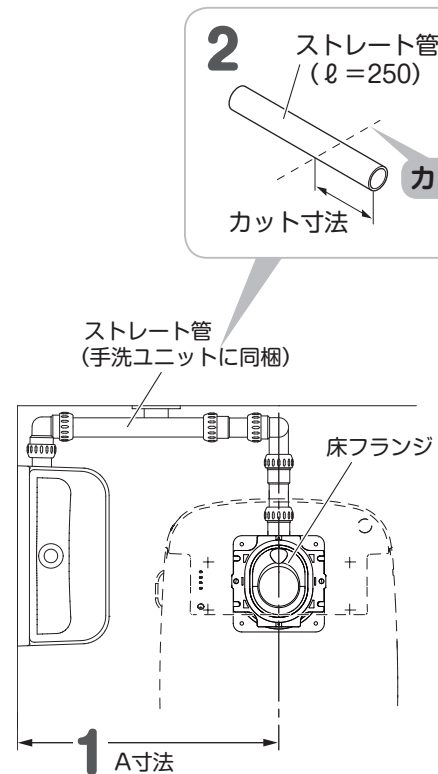
1 A寸法を測定する。

2 ねじ付ストレート管をカットする。

・カット寸法＝522－A寸法

3 各部材を接続する。

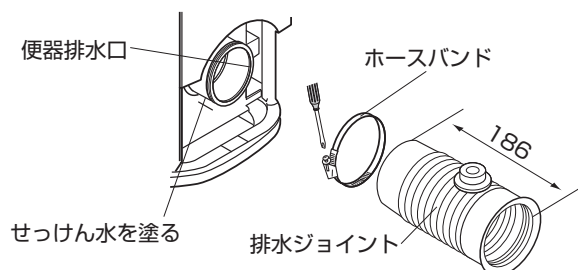
・水漏れのないよう、しっかりと締めつけてください。

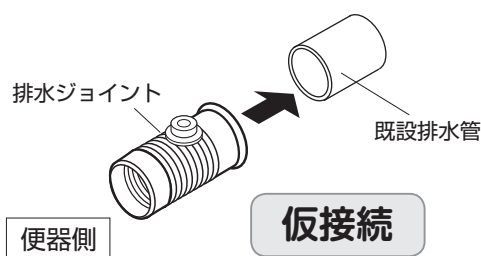
「10 排水管の接続」（P. 26）へ

アラウーノ壁排水タイプと接続する場合

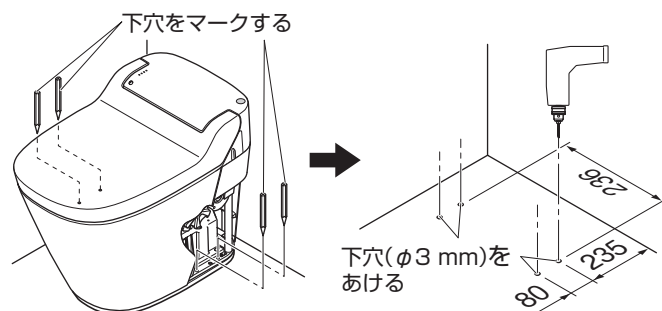
1. 排水管と便器の接続

1 便器排水口に排水ジョイントを接続する。

・あらかじめ差込部にせっけん水を塗っておくと、差し込みが容易です。

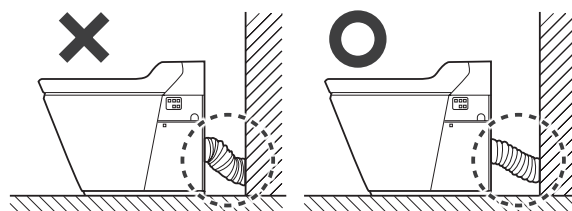
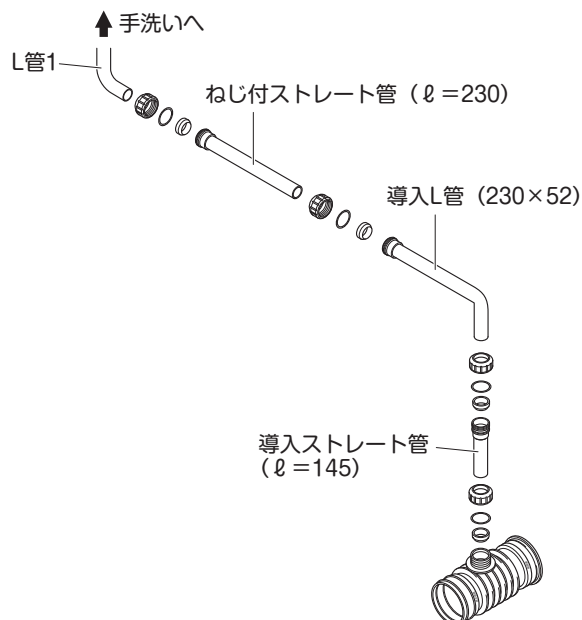
・接続部は、マイナスドライバーなどを使用して、ホースバンドで固定してください。

2 既設排水管に排水ジョイントを仮接続する。

・排水ジョイントは、排水管カット後に取り外しますので、接着しないでください。

3 便器取り付け穴（4か所）に下穴（φ3mm）をあける。

・固定位置は排水ジョイントがしわにならない位置にしてください。

⚠注意

必ず守る

排水ジョイントにしわができないようにホースバンドを締めつける

水漏れの原因となります。

4 排水管を仮接続する。

手洗いタイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
便器・手洗い設置位置	標準	前出し	標準	前出し
施工タイプ記号	A	C	B	D

（寸法単位：mm）

2. 便器とストレート管の取り付け

1 A寸法を測定する。

2 ねじ付ストレート管をカットする。

・カット寸法＝500－A寸法

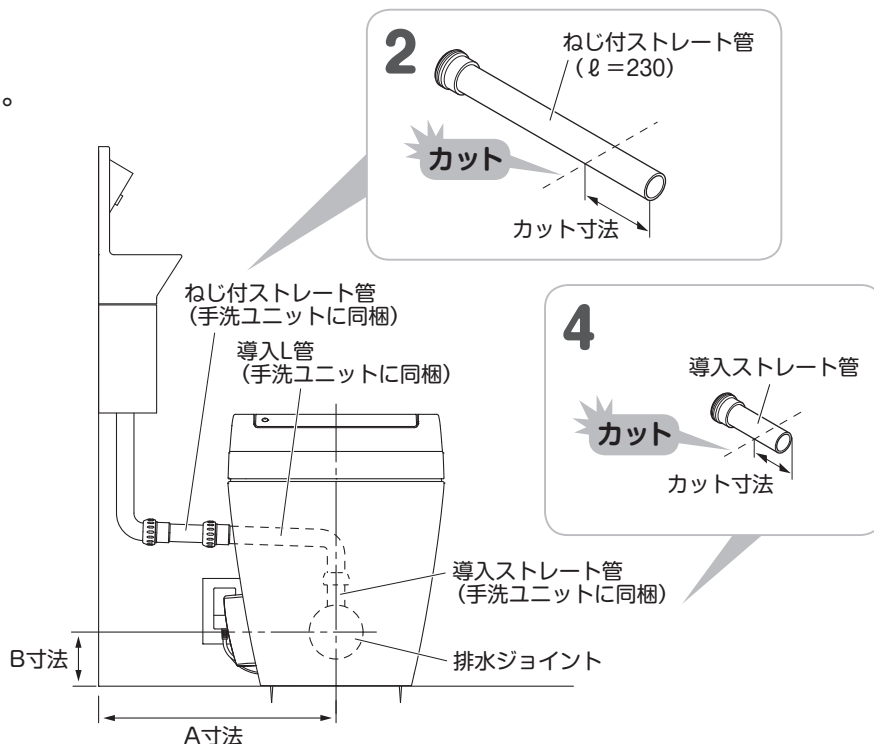
3 B寸法を測定する。

4 導入ストレート管をカットする。

・カット寸法＝B寸法－100

5 各部材を接続する。

・水漏れのないよう、しっかりと締めつけてください。

「10 排水管の接続」（P. 26）へ

アラウーノS・アラウーノVと接続する場合

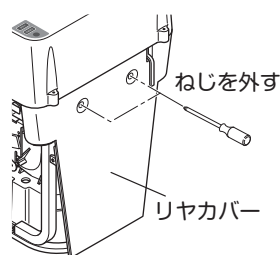
※図はアラウーノＳの場合です。

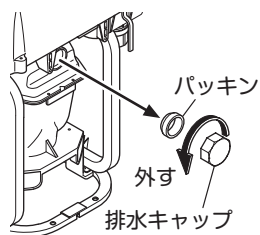
1. 排水管と便器の接続

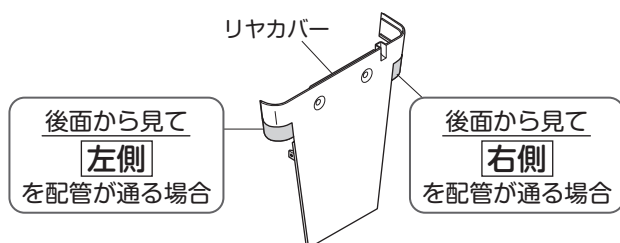
お願い

便器を先に設置すると、手洗い側の排水管の接続ができません。必ず先に手洗い側の排水管を本体に接続してください。

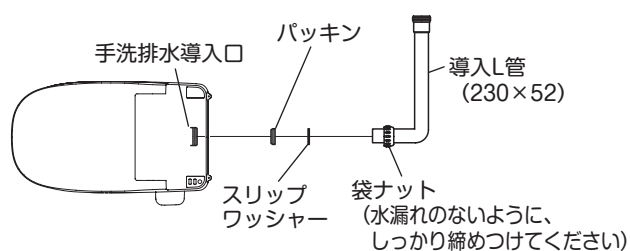
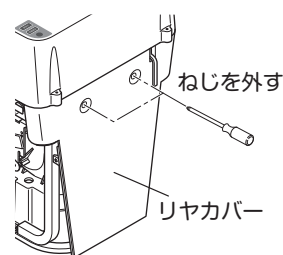
A B

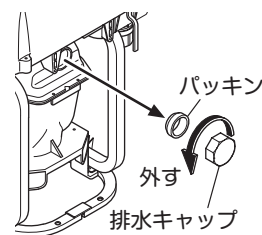
1 ねじを外し、リヤカバーを取り外す。

2 排水キャップを取り外す。

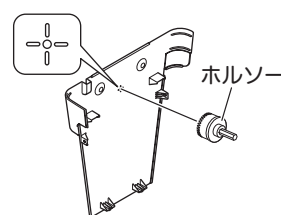
・取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。

3 リヤカバーを加工する。

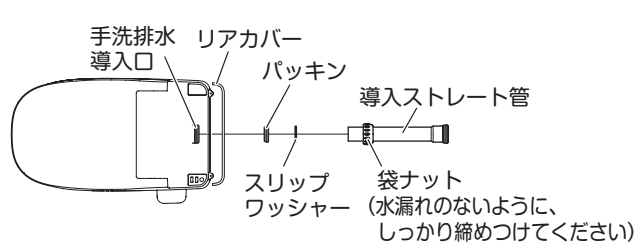
・塩ビのこなどでカットしてください。
カット後、切断面のバリを取り除いてください。

4 手洗い側の排水管を取り付ける。

・袋ナットをしっかり締めてください。

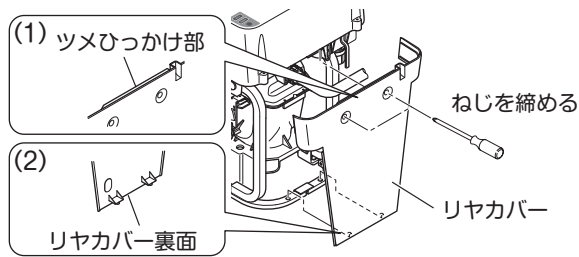
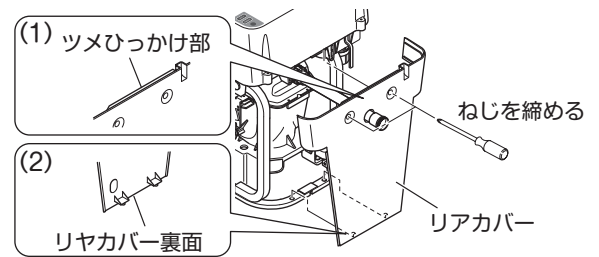
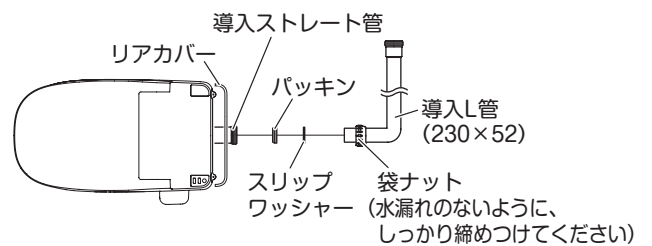
C D

1 ねじを外し、リヤカバーを取り外す。

2 排水キャップを取り外す。

・取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。

3 リヤカバーを加工する。

・裏面側からホルソーでφ48 ～ 52の穴をあける。
穴あけ後は、切断面のバリを取り除いてください。

4 手洗い側の排水管を取り付ける。

・袋ナットをしっかり締めてください。

手洗いタイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
便器・手洗い設置位置	標準	前出し	標準	前出し
施工タイプ記号	A	C	B	D

（寸法単位：mm）

5 リヤカバーを取り付ける。

5 リヤカバーを取り付ける。

6 手洗い側の排水管を取り付ける。

2. 便器とストレート管の取り付け

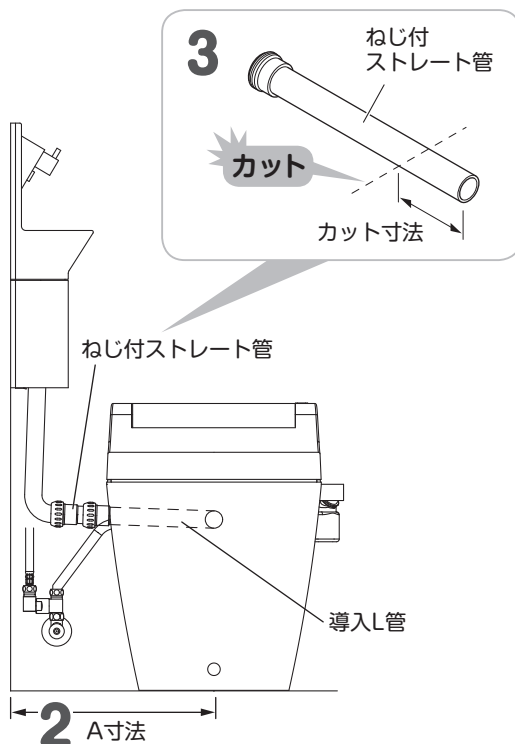
A B D

1 給水ホースを回転エルボに取り付ける。

2 A寸法を測定する。

3 ねじ付ストレート管をカットする。

・カット寸法＝500－A寸法

4 ねじ付ストレート管を導入L管に取り付ける。

C

1 給水ホースを回転エルボに取り付ける。

2 A寸法を測定する。

3 ストレート管をカットする。

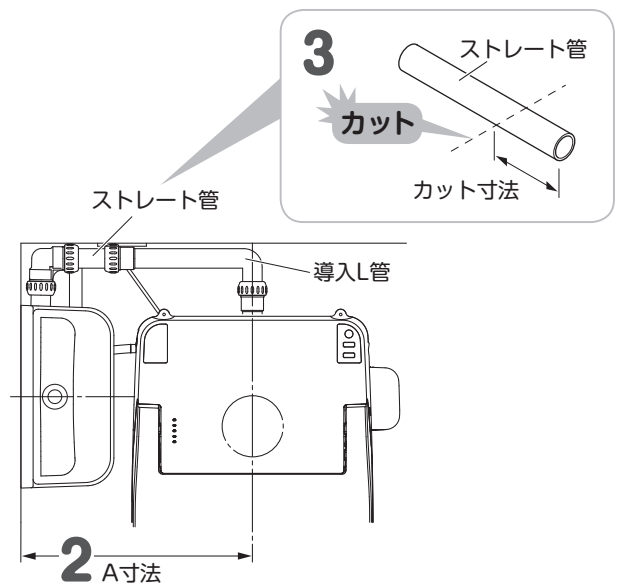
・カット寸法＝255－A寸法

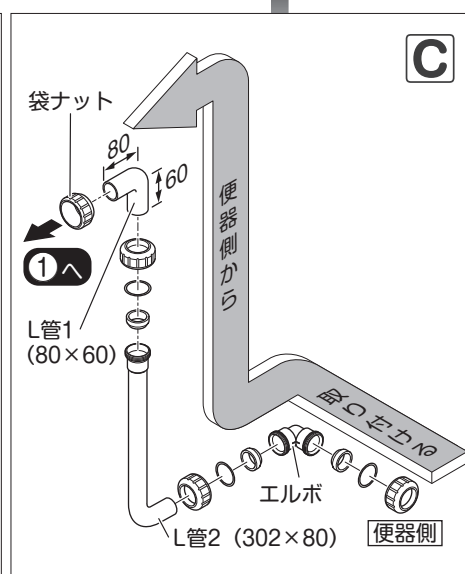
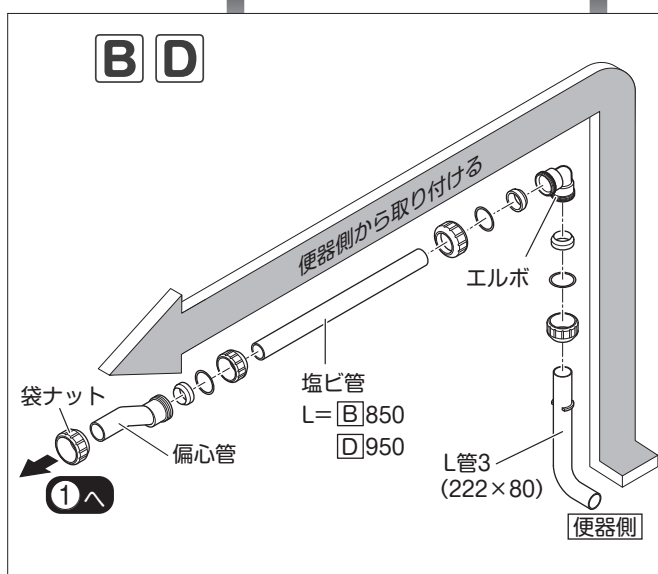
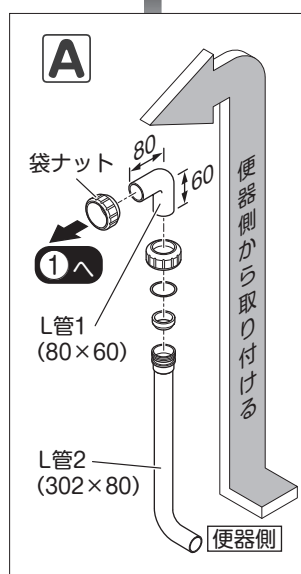
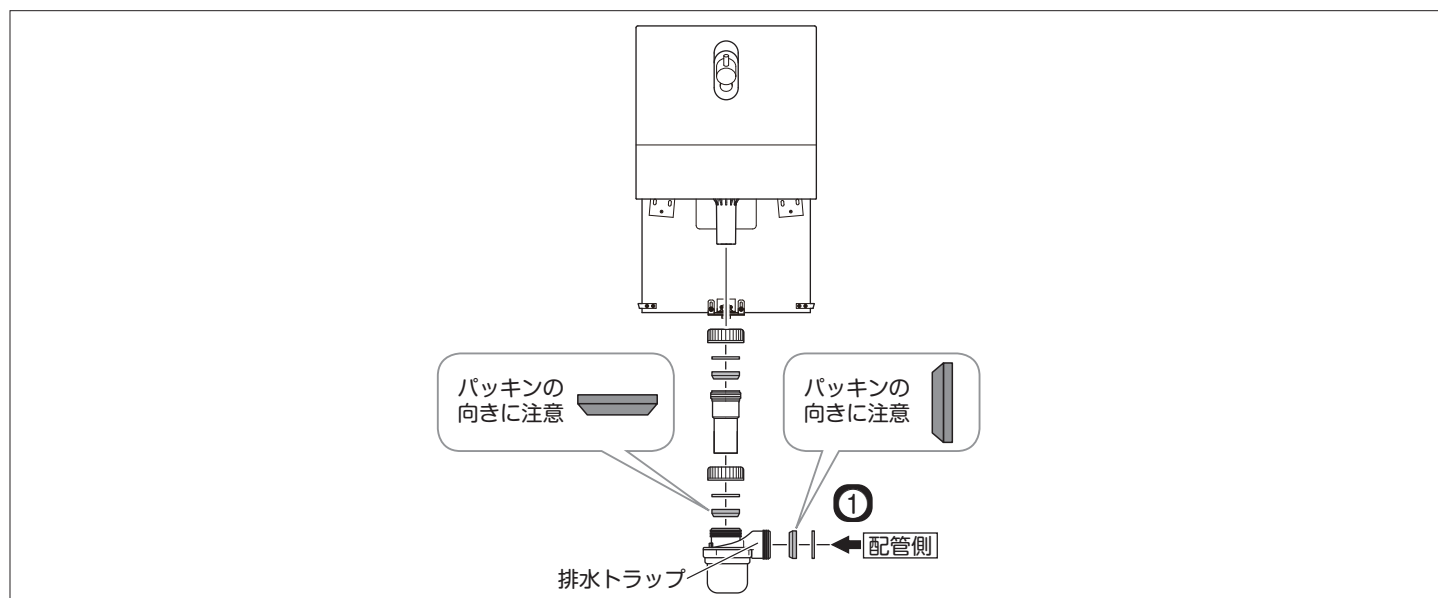
4 ストレート管を導入L管に取り付ける。

⚠注意

必ず守る

排水管をしっかり締めつける
水漏れの原因となります。

「10 排水管の接続」（P. 26）へ

10 排水管の接続

1 各タイプにしたがって、矢印方向の手順で各排水管部品を取り付ける。

【アラウーノS・アラウーノV】 床排水：200 mm、120 mm 305 ～ 445 mm 壁排水 :120 mm(排水ジョイントなし)	【アラウーノS・アラウーノV】 床排水：446 ～ 550 mm 壁排水：120 mm（排水ジョイントL接続） 100 ～ 120 mm（排水ジョイントS接続）
【アラウーノ】 床排水：200 mm、325 ～ 460 mm	【アラウーノ】 床排水：460 ～ 560 mm 壁排水：100 ～ 120 mm（排水ジョイント接続） 135 ～ 155 mm（排水ジョイント接続） ※壁排水は、コーナータイプ前出しとの併設不可

A	B	C	D

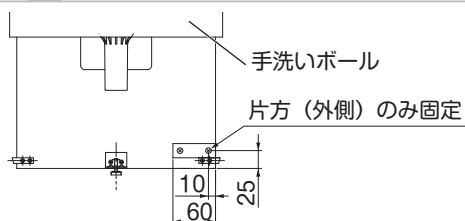
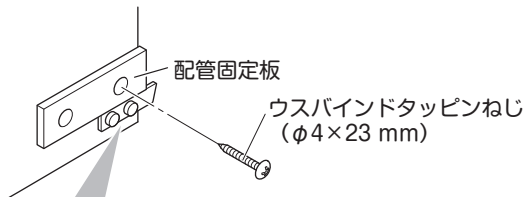
手洗いタイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
便器・手洗い設置位置	標準	前出し	標準	前出し
施工タイプ記号	A	C	B	D

（寸法単位：mm）

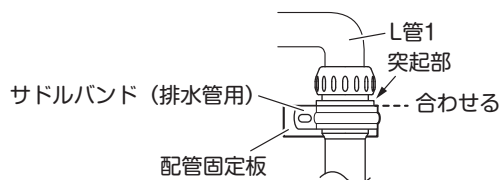
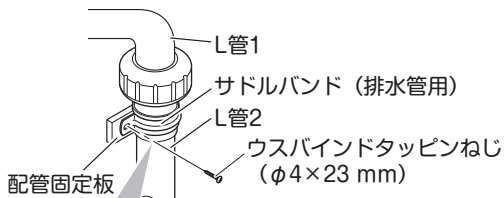
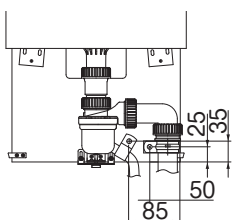
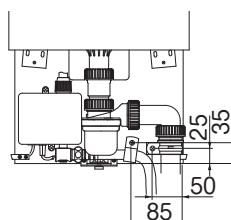
11 排水管の固定

A C

1 配管固定板を取り付ける。

・ウスバインドタッピンねじ（φ4×23mm）で片側（外側）のみ固定してください。

・施工パネルには下穴はあいていません。位置を確認して取り付けてください。

2 L管2をサドルバンド（排水管用）で取り付ける。

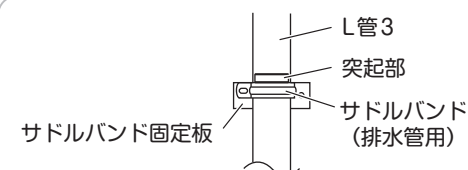
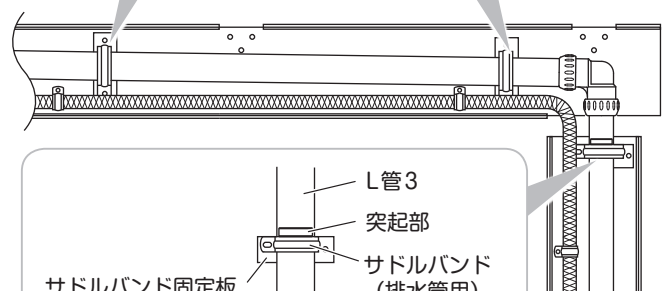
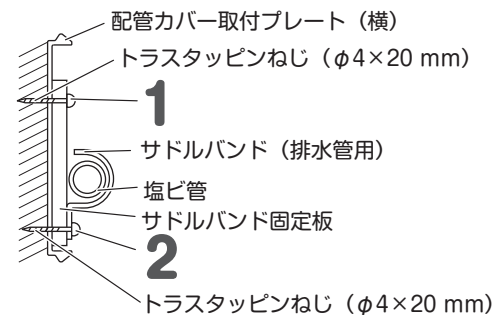
・サドルバンドの突起部と配管固定板の上端を合わせて、ウスバインドタッピンねじ（φ4×23mm）で固定してください。

完成イメージ

B D

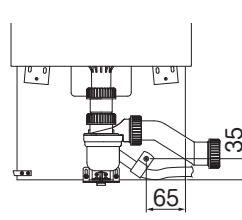
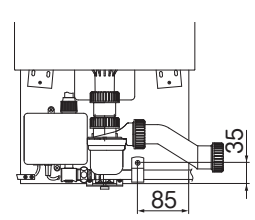
1 サドルバンド固定板を任意の位置に固定する。

・トラスタッピンねじ（φ4×20mm）で片側のみ、固定してください。

お願い
排水方向と逆勾配にならないようにしてください。

2 塩ビ管とL管3をサドルバンド（排水管用）で取り付ける。

・トラスタッピンねじ（φ4×20mm）で固定してください。

L 管 3 の突起部とサドルバンド固定板を合わせて取り付ける。

完成イメージ

12 便器用止水栓・分岐水栓の接続

1 止水栓を取り付ける。

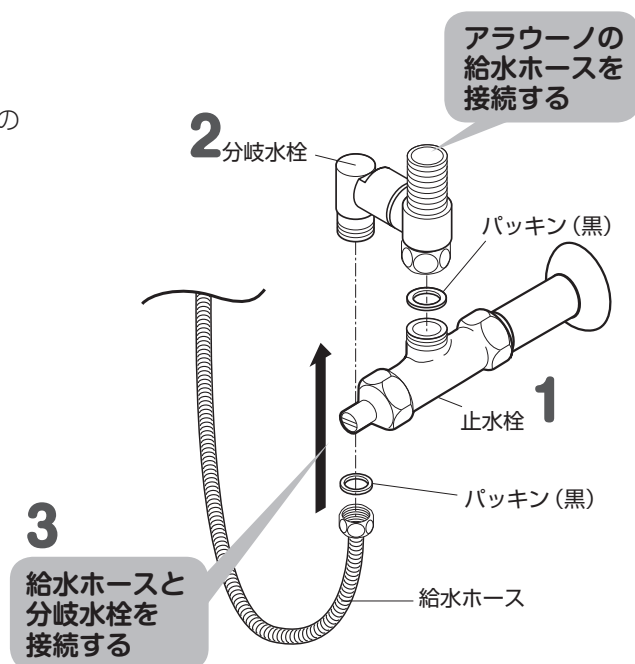
・必ず便器用の止水栓を取り付けてください。
異なる止水栓を取り付けると、便器洗浄の水量が減るなどの問題が生じるおそれがあります。

・手洗い用の止水栓（定流量弁付）は便器に使用しないでください。
便器洗浄水量などが不足し、洗浄不良となります。

2 分岐水栓を取り付ける。

3 給水ホースを接続する。

・分岐水栓に接続してください。

・給水ホースが短い場合は、オプションの給水ホース（品番：CH110RT08）を、別途手配してください。

13 アラウーノ　壁排水タイプのみ　排水ジョイントの接続

1 排水ジョイントを既設排水管に接続する。

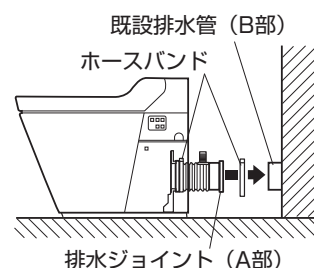
・排水ジョイントの差込部（A部）内周と既設排水管の差込部外周（B部）に塩ビ用接着剤を塗布してください。

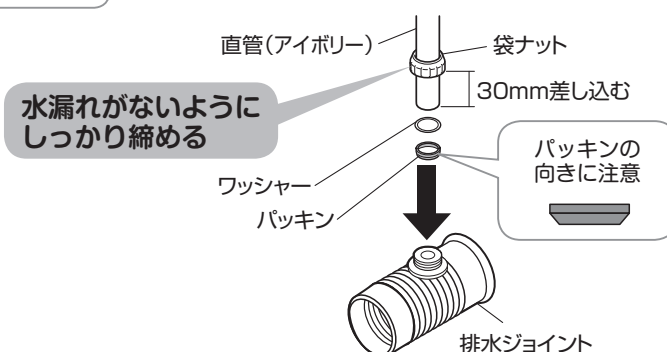
・排水ジョイントは十分に差し込んでください。

・接続部は、マイナスドライバーなどを使用して、ホースバンドで固定してください。

・排水ジョイントにしわができないように締めつけてください。

お願い

既設排水管と便器との接続は、排水ジョイントが逆勾配にならないように注意する。器具の洗浄性能が低下したり、汚水が機器のトラップ内に逆流する原因となります。

2 排水ジョイントに直管を本接続する。

・袋ナットをしっかり締めて接続してください。

手洗いタイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
便器・手洗い設置位置	標準	前出し	標準	前出し
施工タイプ記号	A	C	B	D

（寸法単位：mm）

14 便器の取り付け

※それぞれの便器の施工説明書にしたがって便器を取り付けてください。

アラウーノ

	標準	リフォーム
床排水	P.16 8	P.21 10

壁排水	P.13 4

アラウーノS

	標準、高層階	リフォーム
床排水	P.2 A-1 5	P.2 B-1 7

		排水ジョイント接続
壁排水	P.3 C-1 3 ❸❹	排水ジョイント接続の場合 P.3 2 (3) P.3 C-1 3 ❹

アラウーノV

	標準	リフォーム
床排水	P.18 手順5	P. 24 手順7

	後ろ抜き	排水ジョイント接続
壁排水	P.13 手順4 P.14 手順5	P.20 手順8 P.21 手順9

それぞれの便器の施工説明書にしたがって「便器の取り付け」以降の作業を行ってください。

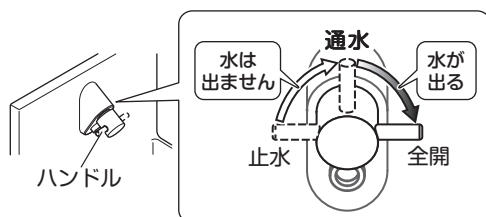
15 試運転

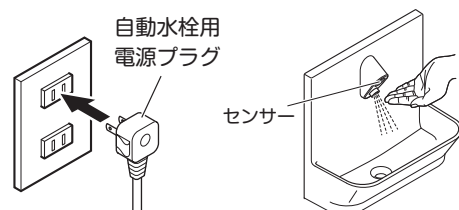
1 水道の元栓を開ける。

2 止水栓を開く。

3 手洗いの通水を確認する。

手動水栓

ハンドルを回すと、水が出ます。

自動水栓

自動水栓の電源プラグを、コンセントに差し込んでください。
センサーに手をかざすと水が出ます。

4 給排水の接続部分からの水漏れを確認する。

16 カバーの取り付け

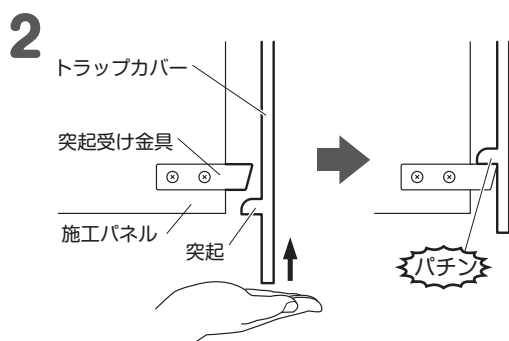
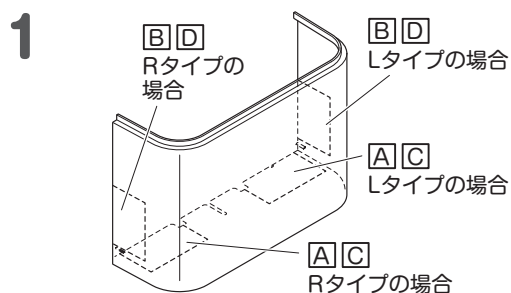
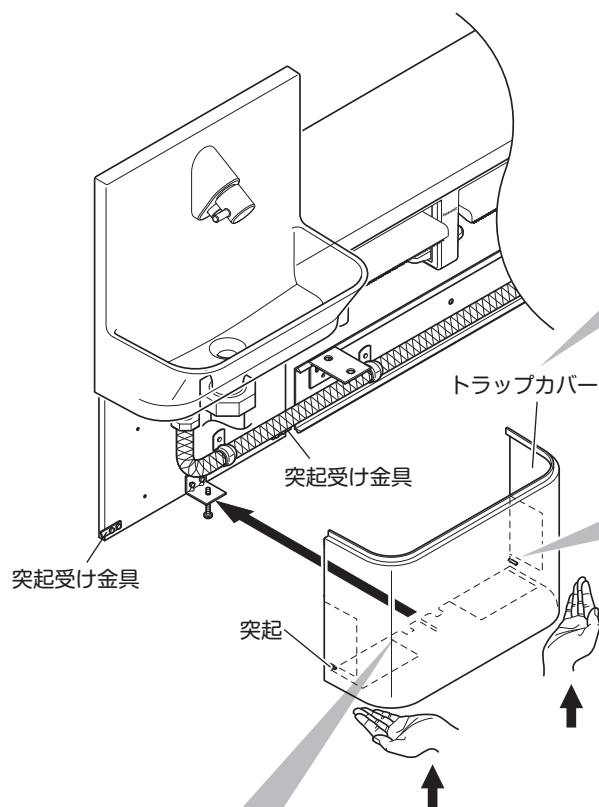
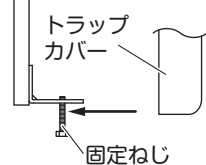
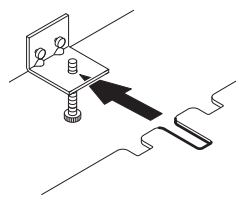
1. トラップカバーの取り付け

1 配管位置に合わせて、トラップカバーの切り欠きに沿ってカットする。

・カット後、切断面のバリを取り除いてください。

2 トラップカバーを取り付ける。

・「パチン」と音がするまで下から持ち上げてください。

3 トラップカバーをねじで固定する。

手洗いタイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
便器・手洗い設置位置	標準	前出し	標準	前出し
施工タイプ記号	A	C	B	D

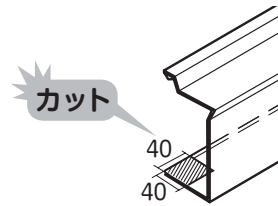
（寸法単位：mm）

2. （B D の場合）配管カバーの取り付け

お願い

自動水栓の場合

配管カバー（横）を取り付ける前に電源コード取り出し部（斜線部分）を「塩ビのこ」などでカットしてください。

・カット後、切断面のバリを取り除いてください。

1 配管カバー（横）を取付プレートに取り付ける。

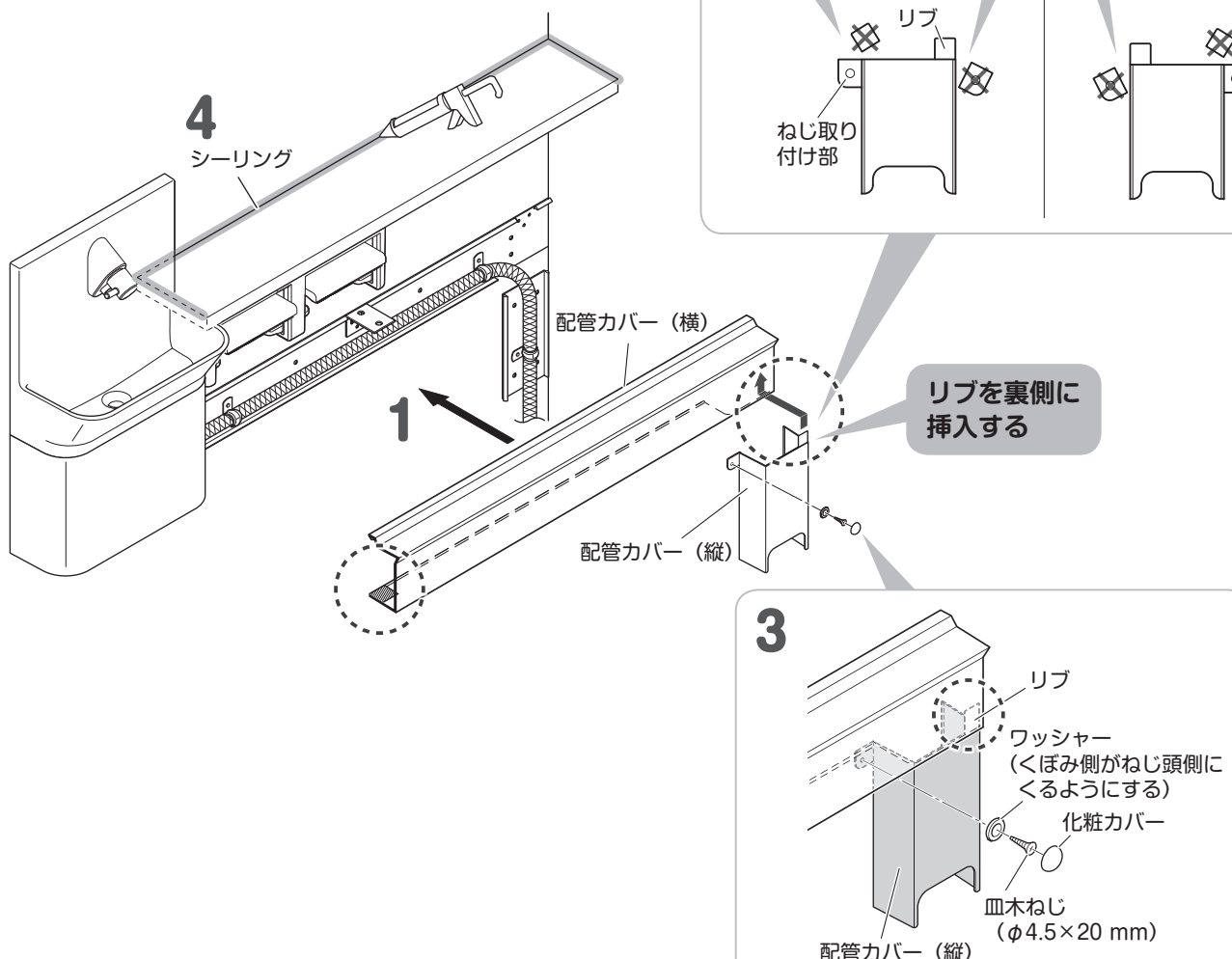
2 配管カバー（縦）のねじ取り付け部の壁側とリブの片側を「塩ビのこ」などでカットする。

【Lタイプの場合】
- ●ねじ取り付け部・・・右側をカット
- ●リブ・・・・・・・・左側をカット

【Rタイプの場合】
- ●ねじ取り付け部・・・左側をカット
- ●リブ・・・・・・・・右側をカット

3 配管カバー（縦）を皿木ねじ（ϕ4.5×20mm）で固定する。

・リブを配管カバー（横）の裏側に挿入して取り付けてください。

4 カウンターと壁のすき間、カウンターと手洗いボールのすき間をシーリング処理する。

施工完了チェックリスト

施工後、このチェックリストにしたがって施工確認をしていただき、結果を記入のうえ、お客様にお渡しください。

No.	チェック項目	結果
1	手洗いボールや、カウンターにがたつきはありませんか？	
2	配管部から水漏れはありませんか？	
3	給水栓から水は出ますか？	

⚠注意

凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う
水漏れなどで家財などに損害を与えるおそれがあります。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

DC0913-0